

第65回 NHK 杯体操
第54回世界体操選手権日本代表決定競技会
第20回アジア競技大会日本代表選考競技会

大会要項

主催：（公財）日本体操協会
主管：東京都体操協会
後援：NHK・（一財）上月財団・
協賛：テーブルマーク・ACNグループ・日本航空・三菱地所・ミズノ・
セイコーグループ・セノー・JTB・近畿日本ツーリスト

1. 期 日

2026年5月12日（火）～17日（日）

5月12日（火） 女子会場練習
5月13日（水） 男女会場練習
男女オリエンテーションミーティング（OM）
5月14日（木） 男子会場練習
女子競技1日目
女子審判会議
第4回ユースオリンピック男子代表選考競技会
男子審判会議（ユースオリンピック代表選考）
5月15日（金） 男子競技1日目
男子審判会議
5月16日（土） 女子競技2日目（テレビ放映）
5月17日（日） 男子競技2日目（テレビ放映）

2. 会 場

東京体育館

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目17-1 Tel 03-6380-4832

3. 参加資格と条件

【参加資格】

(1) NHK 杯男子

- ① 年齢制限は、中学3年生以上とします。
- ② 以下に該当する者とします。

個人総合(30名)	
①	第80回全日本個人総合選手権上位30名
種目別選手枠(各種目6名)	
②	個人総合出場者を除く全日本個人予選上位6名

※ 種目別選手枠の出場は、日本国籍を有する選手とします

(2) NHK 杯女子

- ① 年齢制限は13歳以上(2026年12月31日までに達する者)
- ② 以下に該当する者としてします。

①	第80回全日本個人総合選手権上位24名
---	---------------------

【参加条件】

2026年度本協会への選手登録を済ませた者としてします。

4. 登録に関して

- (1) 学生(大学生・高校生以下)の参加者は、出場資格を得た大会に関わらず、所属名を学校名またはクラブ名のどちらかを選択できます。
 - ① 大学・高校等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得てください。
 - ② 登録時は双方の連盟いずれも登録して下さい。(本協会への登録窓口となっている、各都道府県体操協会登録窓口では、複数登録が可能となっています。)
- (2) (1)における所属の双方を表記することが可能です。また、学生以外の参加者は、所属・スポンサー契約等の条件をもとに本協会と参加者合議の上所属の表記を申告できます。
 - ① プログラム、競技帳票、得点表示板には双方の所属(ダブルネーム)を掲載します。
 - ② ①におけるダブルネームにおいて、“ / ”で区切り、合計16文字以内で登録してください。
例:○○○○○クラブ/□□高校
Webにて申し込む際、上記のようにダブルネームを全て/を挟んで記入してください。
 - ③ 競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンス・スポンサーによる肖像使用等に、優先的に表記する場合、申告して下さい。
 - ④ このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。

5. 競技に関する通達事項

(1) 適用規則

男子:2025年版採点規則および体操競技情報最新号を適用

女子:2025年版採点規則および体操競技情報最新号を適用

競技規則は2026年版FIG競技規則に準ずる。

(2) 富士通採点支援システム(JSS)について

男子において、システムの導入および6種目のデータ取得をします。

女子において、2種目(跳馬・平均台)のデータを取得します。

(3) 会場およびサブ会場

- ① 本大会では、演技台(ポディウム)を設置しません。
- ② 男女ともサブ会場(10種目)を設営します(ゆかフロア1面、跳馬は男女で2台)。
- ③ 炭酸マグネシウムは、大会で準備します。
環境美化のため各所属で持参は、最小限にてお願いします。
- ④ 女子「ゆか」の競技が行われていない競技中に会場内にBGMを流す予定です。

(4) 器械器具について

本大会はセノー社製(2026製品カタログ版)を使用します。

* 跳躍板について

跳馬はハードタイプ(3-3-2)・ソフトタイプ(3-1-2)を使用します。

(注)バネの取り外しはできません

平行棒、段違い平行棒、平均台については、ソフトタイプを使用します。

競技用追加マット(スポッターマット)について

- * 男子は、競技用追加マットについて本大会では使用しません。
- * 女子は、スポッターマットについて2025年版規則に則って使用します。
- * テンションコントロールセンサー(張力計、TCS)について
下記種目においてTCSを設置します。
男子: つり輪、鉄棒
女子: 段違い平行棒

(5) 組編成について

【男子】

〈1日目 30名+種目別枠選手6名〉

- ① 全日本体操個人総合選手権予選・決勝合計の成績順に編成します。
 - * 全日本個人総合選手権が同点の場合は、全日本決勝の合計得点の高いものを上位とし、さらに同点の場合は、全日本個人総合決勝の得点によりFIGタイブレークを適用します。
- ② 1組ゆか(1位-6位) 2組あん馬(7位-12位) 3組つり輪(13位-18位) 4組跳馬(19位-24位) 5組平行棒(25位-30位) 6組〈種目別枠6名〉()内は全日本順位
 - * 個人総合演技順は、各組とも最上位者が最終種目で最終演技者となります。
 - * 種目別枠選手の演技順は、全日本個人総合予選における各種目得点の下位者より演技を行います。
 - * 種目別枠選手のタイブレークは、強化本部作成タイブレークルールに則り順位づけします(本会HP、全日本個人総合・NHK杯出場関連資料参照)。

〈2日目 30名+種目別枠選手6名〉

- ① NHK杯1日目後の合計の成績順に編成します。
- ② 1組ゆか(1位-6位) 2組あん馬(7位-12位) 3組つり輪(13位-18位) 4組跳馬(19位-24位) 5組平行棒(25位-30位) 6組〈種目別枠6名〉
 - * 個人総合演技順は、各組とも最上位者が最終種目で6番目の演技者となります。
 - * NHK杯1日目終了時に同点の場合は、NHK杯1日目の合計得点の高いものを上位とし、さらに同点の場合は、NHK杯1日目の得点によりFIGタイブレークを適用します。
 - * 種目別枠選手の演技順は、全日本個人総合予選における各種目得点の下位者より演技を行います。

【女子】

〈1日目 24名〉

- ① 全日本体操個人総合選手権予選・決勝合計の成績順に編成します。
1組跳馬(1位-6位) 2組段違い平行棒(7位-12位) 3組平均台(13位-18位) 4組ゆか(19位-24位) ()内は全日本順位
 - * 演技順は、各組とも最上位者が最終種目で最終演技者となります。
 - * 全日本個人総合選手権が同点の場合は、全日本個人決勝の合計得点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は、全日本個人決勝の得点によりFIGタイブレークを適用します。
- ② リザーブについて
リザーブ選手は2名とし、5月14日(木)の公式練習終了まで準備をお願いします。
リザーブ選手1は3組にて、リザーブ選手2は4組にて割当て練習を行なってください。

〈2日目 24名〉

- ① NHK杯1日目後の合計の成績順に編成します。

1組跳馬(1位-6位) 2組段違い平行棒(7位-12位) 3組平均台(13位-18位) 4組ゆか(19位-24位)

- * 演技順は、各組とも最上位者が最終種目で6番目の演技者となります。
- * NHK 杯1日目終了時に同点の場合は、NHK 杯 1 日目の合計得点の高いものを上位とし、さらに同点の場合は、NHK 杯 1 日目の得点により FIG タイブ레이크を適用します。

(6) 跳馬について

〈男子〉

NHK 杯、世界選手権・アジア競技大会個人代表選考には 1 本目の得点を採用します。
代表選考世界ランキング用およびアジアランキング用の得点は2跳越の平均を採用します。

〈女子〉

NHK 杯、世界選手権・アジア競技大会代表選考、1 跳躍とします。

(7) 競技進行について

- ① 男女とも1日目、2日目ともに1 種目27分のローテーションで競技進行します。
- ② 女子は1種目27分のローテーションで競技進行します。
- ③ テレビ中継により、進行に調整が入る可能性があります。
- ④ 競技直前アップの時間は、男子5分、女子3分とします。※女子段違い平行棒は一人50秒
- ⑤ 女子2日目、男子2日目競技では競技開始前に選手紹介をいたします。
男女とも1日目は、グループごとにビジョンにて紹介します。
- ⑥ ラインナップは、審判団の前に整列してください。

(8) 出場辞退(申し込み前)および棄権(申し込み後)の取り扱いについて

- ① 男子は、NHK 杯出場有資格者決定(全日本個人総合決勝)以降、辞退者が生じても補充はしません。
- ② 女子は、NHK 杯出場有資格者決定(全日本個人総合決勝)以降、辞退者が生じた場合、リザーブ選手に出場資格を与えます。
- ③ 男女とも申し込み期間終了後に棄権する場合は、棄権届け(別途様式)を提出して下さい。

(9) 女子ゆかの音楽について

全日本個人総合選手権で提出した曲と異なる場合のみ下記フォームより提出してください。同じ曲の場合は、提出不要です。

データのエラーに備え、各自 CD または USB を準備し携帯してください。

媒体につき音楽データ 1 曲のみとし、通常の再生機器で再生できるものを大会用として準備してください。

大会参加申込み後にご案内いたします。

6. AD(Accreditation)カードについて

本協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみ AD カードは発行されます。会場では必ず見える位置に着用をお願いします。

各所属への AD カードの発行枚数と条件は、以下の通りとします。

役 職		配布枚数
部 長	男女の選手が出場のチームでも1名分とします。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は選手団席での観戦となります。	1
監 督	男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。	各 1

	会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は選手団席での観戦となります。 ただし、JSPO 公認コーチ3以上の資格を持たない学生がコーチとして競技エリアに入る場合、学生コーチの監督者として競技エリア外で待機してください。なお、アクシデントによる対応やインクワイアリーの提出が必要な場合、競技エリア内に入ることができます。	
選手		出場者数
コーチ	原則として、JSPO 体操競技公認コーチ3資格を持つ者とします。 コーチとアシスタントコーチを合わせて最大出場選手数分を配布します。 コーチ3資格保持監督やコーチはアシスタントコーチの統括し、責任を持ってその者をサポートしなければならない。	出場選手数分
アシスタントコーチ	JSPO 公認コーチ3以上の資格を持たない指導者、学生および生徒、選手 アシスタントコーチはインクワイアリー等の競技に関する申請は出来ないものとします(コーチ3資格保持監督やコーチが行ってください)。 AD 申請をする際は、大会開催時前までに JGA ホームページ内にあるアンチドーピング委員会の「レスキュー動画」ならびに、「コンプライアンス研修動画」の視聴を「推奨」します(申請時に URL をお知らせいたします)。	
トレーナー	男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。 競技中は競技エリア外で待機してください。治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。	各1
撮影者	写真撮影者1名 動画撮影者1名 男女出場する所属も1所属2枚まで 要項 p7 12項参照	撮影許可証のみ

7. 順位の決定ならびに表彰

(1) 順位決定方法

〈男子〉

全日本体操個人総合選手権予選・決勝の合計得点を持ち点とし NHK 杯1日目・2日目の合計得点を加算し順位を決定します。

〈女子〉

全日本体操個人総合選手権予選・決勝の合計を1/2にした得点を持ち点とし NHK 杯1日目・2日目の合計得点を加算し順位を決定します。

(2) 表彰

男女優勝者に「NHK 杯」を授与します。

同点は同順位とします。

8. 日本代表について

男女とも強化本部から示された日本代表選考方法をご確認ください。

(代表選考に関わる同点が生じた場合、男女とも強化本部から示された日本代表選考方法資料参照のこと)

9. 保険について

本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。発生した傷害の補償に

については損保ジャパンの国内旅行傷害保険(団体)の範囲とします。

死亡・後遺障害：	14,950,000 円
入院保険金日額：	5,000 円
通院保険金日額：	3,000 円

※ 大会参加者は健康保険証を持参してください。

10. ドーピング検査について

- (1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- (2) 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
- (3) 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出してください。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出してください。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
- (3) 本競技会が国内最高レベルの競技大会に該当し、禁止物質・禁止方法を使用して治療を行う競技者に限り、競技会30日前までに治療使用特例(TUE)を取得してください。競技会及び TUE が必要か否かは、以下の手続に沿って確認してください。
 - ① 自身が使用している治療薬が禁止物質・禁止方法(<https://www.realchampion.jp/what/health/about/>)に該当するかを確認してください。
 - ② 当該競技会が、国内最高レベルの競技大会一覧(<https://www.playtruejapan.org/code/tue.html>)に掲載されているかを確認してください。
 - ③ 治療使用特例(TUE)の手続き(<https://www.realchampion.jp/what/health/tue/>)を確認し、期限までに提出してください。
- (4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。
- (5) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後1時間の安静が必要となるので留意してください。
- (6) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認してください。

11. 演技写真撮影および SNS による広報活動について

- (1) 記者会見、ミックスゾーン等の取材活動にご協力下さい。
- (2) 本大会は記録のため写真および映像を撮影します。本協会が定める競技者規程第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。

- (3) 出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。

* 大会期間中に本協会が撮影した写真や動画について、今後の本協会主催の事業で使用することがあります。使用する写真や動画の確認が必要な所属は申し出てください。

- (4) 競技普及や体操への人気拡大を目的として、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規程にもとづく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがあります。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア(公式 HP、Twitter、Facebook、Instagram)に掲載する可能性がありますので、ご協力をお願いします。

* 大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

12. 撮影許可証について

- (1) 所属あるいは選手自身の記録のため各所属に撮影者用撮影許可証を配布します(要項 p6 6項撮影者、参照)。撮影者は、申込み時に登録をしてください(保護者等の申請はできません)。
- (2) 関係者(保護者等)でカメラでの撮影を希望する方は、参加申し込み時に登録し参加費と併せてお支払いください(1,000円/1名 4日間通し)。当日、現金での対応はございません。
- (3) 一般の撮影許可証は、スマートフォンのみとします。カメラを使用しての撮影許可証は、指定された座席にて限定販売を行います。

13. 参加申し込み

期 日:2026年4月20日(月)~4月24日(金)15:00まで

出場辞退者は事前に申請してください。

女子:4月23日(木)12:00まで

男子:4月23日(木)12:00まで

連絡先: ag-event@jpn-gym.or.jp(担当:玉川 久根)

* 2026年度より連絡先アドレスを変更しました

申込方法:大会申込みは以下 URL から手続きをしてください。なお、参加申込み終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。

(公財)日本体操協会 会員登録管理システム:<http://jga-web.jp/>

* 男子 NHK 出場者で、アジア競技大会への出場を希望しない者は web 申込み時に所定の欄にて回答をしてください。

参加申込み以降に辞退を希望する者は NHK 杯 OM まで申告を認めます。

参加料:1選手につき20,000円

* JASRAC(日本音楽著作権協会)負担金 女子選手のみ1名につき500円

参加料の振込時に入金してください。

14. その他

- (1) 所属の車両乗り入れについて

本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両の乗り入れはできません。近隣の民間駐車場をご利用ください。

- (2) 競技時程・会議時程等は、参加者及び関係者に追って連絡することとします。

- (3) 上記、出場資格以外の記載内容については、若干変更される場合があります。

以上

第4回ユースオリンピック男子日本代表選考会

大会要項

1. 期日

- 5月13日（水） 会場練習
オリエンテーションミーティング(OM)
- 5月14日（木） 男子審判会議(ユースオリンピック代表選考)
第4回ユースオリンピック男子代表選考競技会

2. 参加資格

対象年齢:16～17歳(2008年11月14日～2010年10月31日に生まれた者)

区分	個人総合30名	人数
A	2025年度 U15・18ナショナル選手	7名
B	第42回全国高等学校体操競技選抜大会 上位選手 * 個人総合上位選手(Aを除く対象者)	6名
C	強化部推薦選手 * 対象者がいない場合、Bの個人総合次点者	1名
D	令和7年度全国高等学校総合体育大会 団体枠 * 別紙日本代表選考会の出場資格者を参照	8名
E	2025全日本ジュニア体操競技選手権大会団体枠 * 別紙日本代表選考会の出場資格者を参照	8名

別紙日本代表選考会の出場資格者を参照

- * 区分ABCにおいては、4月19日(日)18:00までに出場意思確認をする。
- * 区分Bにおいて欠員が出た場合はBの個人総合次点者を補充する。
- * 区分D・Eにおいて、団体枠予備登録選手(各区分1名)を登録することができる。オリエンテーションミーティング開始前まで交代を認める。(予備登録選手のADカードは発行しない)

3. 競技に関する通達事項

(1) 適用規則

2025年版採点規則および体操競技情報最新号を適用
採点規則内ジュニアに関する項目を適用する
跳馬は1跳越とする
競技規則は2026年版 FIG 競技規則に準ずる

(2) 器械器具

本大会はセノー社製(2026製品カタログ版)を使用します。

- * 跳躍板について
跳馬はハードタイプ(3-3-2)・ソフトタイプ(3-1-2)を使用します。
(注)パネの取り外しはできません
平行棒については、ソフトタイプを使用します。

- * 競技用追加マット(スポッターマット)について
競技用追加マットについて本大会では使用しません。

(3) 組編成について

- ① 1組5名6組編成(30名)
- ② 各組の開始種目は次の通りです。
1組ゆか 2組あん馬 3組つり輪 4組跳馬 5組平行棒 6組鉄棒
- ③ 抽選について
抽選は PC ソフト Excel の関数計算を用いて行います。
抽選は大会運営委員会で実施します(非公開)。
抽選日:2026年4月25日
同一所属を同一組になるよう考慮し開始種目の抽選を行います。
5名を超える所属は2組に振り分けます。

4. 第4回ユースオリンピック男子日本代表選考方法

〈代表選手3名の選考〉

- (1) NHK 杯の出場権利獲得者 【2名以内】
2名を超える場合は、全日本体操個人総合選手権2日間の成績順とする
- (2) 日本代表選考会の上位者 【1~3名】

〈補欠選手3名の選考〉

- ア 日本代表選考会の上位選手 [2名:国内補欠]
- イ ジュニア強化部による推薦 [1名:国内補欠]

※ 第4回ユースオリンピック大会要項(ディレクティブ)が未発表のため、現段階での案とします。
ディレクティブ公式発表後、代表選考方法等必要に応じ変更する場合があります。

5. 参加申し込み

期 日:2026年4月20日(月)~4月24日(金) 15:00まで(予定)

日本代表選考会の参加資格区分 A B C において、出場者および辞退者は、
4月19日(日)18:00までに Google フォームを用いて出場意思確認をします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdP_4SUq1v6RRAXwwOGxV6MGzg_kUBrcYEQFtNhjte2PZvN0Q/viewform?usp=header

申込方法:大会申込は以下 URL から手続きをしてください。なお、参加申込終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。

(公財)日本体操協会 会員登録管理システム:<http://jga-web.jp/>

連絡先: ag-event@jpn-gym.or.jp (担当:玉川 久根)

参加料:1選手につき20,000円

NHK 杯、第4回ユースオリンピック男子日本代表選考競技会の両競技に出場する選手は
20,000円のみとします。

※ 上記以外については、第65回 NHK 杯要項を参照としてください。

〈*別紙〉

【第4回ユースオリンピック男子日本代表選考競技会の出場資格者】

区分	人数	選手名	学年	所属名	備考
A	1	藤本 大翔	高2	清風高等学校	
	2	白岩 直翔	高2	船橋市立船橋高等学校	
	3	藤原 瑛人	高2	浪商高校/トップスポーツクラブ	
	4	西原 一輝	高1	清風高等学校	
	5	黒田 智生	高1	浜松城北高等学校	
	6	杉本 大和	高1	相好体操クラブ/暁高等学校	
B	7	十二町 拓誠	高1	洛南高等学校	高校選抜上位6名
	8	小野澤 勇吾	高3	船橋市立船橋高等学校	高校選抜上位6名
	9	葛西 元夢	高3	洛南高等学校	高校選抜上位6名
	10	富岡 大志	高2	清風高等学校	高校選抜上位6名
	11	角田 真優	高2	埼玉栄高等学校	高校選抜上位6名
	12	長田 旬平	高2	作新学院高等学校	高校選抜上位6名
C	13	毛利 智仁	高3	鶴見高等学校	強化部推薦(対象者なしの場合高校選抜次点者)
D	14			清風高等学校	
	15			船橋市立船橋高等学校	
	16			作新学院高等学校	
	17			洛南高等学校	
	18			埼玉栄高等学校	
	19			関西高等学校	
	20			日体大荏原高等学校	
	21			鯖江高等学校	
E	22			清風体操クラブ	
	23			市立船橋高校体操クラブ	
	24			作新学院体操クラブ	
	25			洛南クラブ	
	26			鶴見ジュニア体操クラブ	
	27			埼玉栄体操クラブ	
	28			トップスポーツクラブ	
	29			関西	

* 所属および学年は、2026年4月24日現在